

コンビ®

生産物賠償  
責任保険つき

# ハイチェア・ラックGX

ラックとハイチェアで、赤ちゃんとおつきあい。

ラックが  
終わったら

ハイチェア



**取扱説明書**

ご使用になる前によく読んで正しくお使いください。

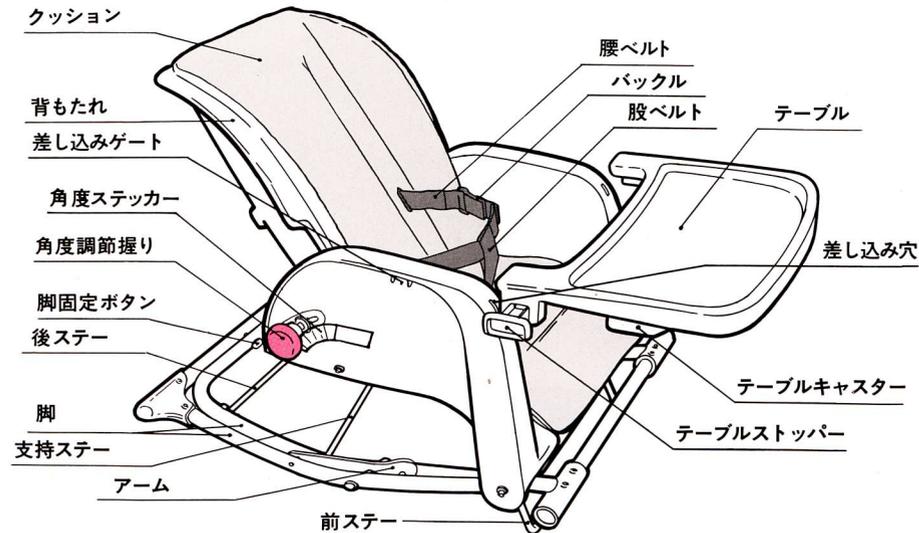
# ハイチェア・ラックGXの特長

1. リクライニングチェア、ゆりかごの機能をもつラックと、ハイチェアの機能を併せもつハイチェア・ラックです。2、3ヶ月～1歳はラックとして、6ヵ月～3歳くらいまではハイチェアとしてお使いいただけます。
2. 座面、背面の幅をワイドにし、たっぷりした居住スペースをとりました。
3. クッションの表地は綿を使用しているため、吸湿性、通気性にすぐれ、肌ざわりはソフトです。

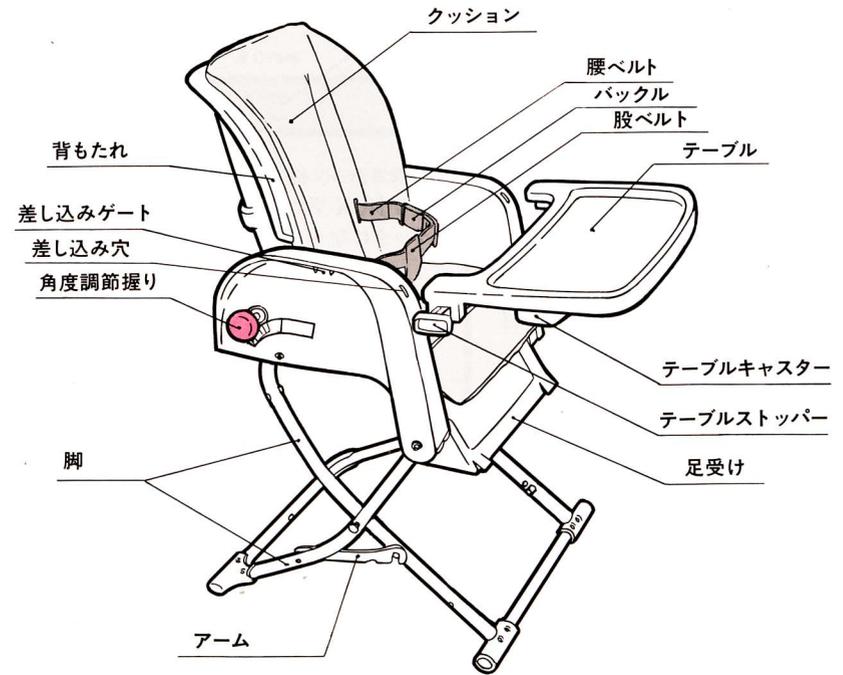
4. お食事、お遊びに便利なテーブル（いつも水平）がついています。
5. 角度調節握りをしめる、ゆるめるだけで、背もたれの自由な角度が選べます。ラックの場合は、ねむる、ロックさせる、あそぶ、ミルクを飲む、ゲップを出すなどに合わせてお使いいただけます。  
(ハイチェアの場合はリクライニングはできません)

## 各部品のなまえ

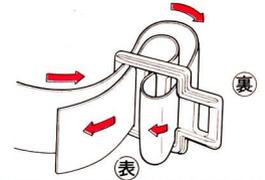
### ラックとして (2・3ヶ月から)



### ハイチェアとして (6ヶ月から)



★ご注意★万一、腰ベルトから差し込みバックルを誤ってはずした場合は、図のようにセットしてください。

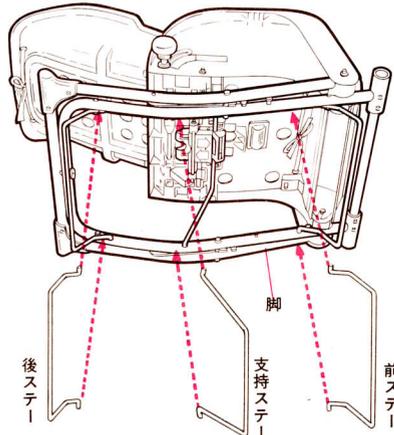


※ハイチェアとしてご使用の場合は「前ステー」「支持ステー」「後ステー」を取りはずしてご使用ください。

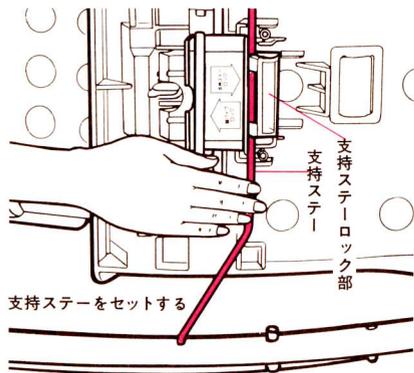
# ラックの組み立て方及び使い方

本体を横に寝かせて、以下の要領で組み立ててください。

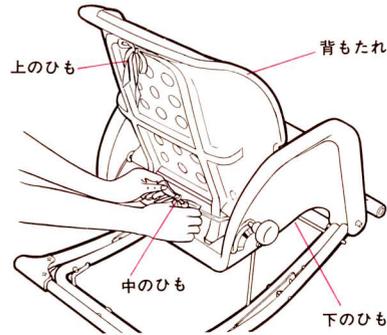
① 前ステー、支持ステー、後ステーを図のように脚に取りつけてください。支持ステーがいちばん大きく、ついで前ステー、後ステーの順です。ステーは前後の向きを逆に取り付けますと、使用できませんので、図を参考にまちがえないようにセットしてください。



② 支持ステーを、支持ステーロック部にカチンと音がするまで差し込み脚を固定してください。(脚パイブロック部と位置をまちがえないようにセットしてください)



③ クッションのひもは上中下の3ヶ所あります。上のひもだけが本体にとめてあります。他の2ヶ所も同じようにして本体に結びつけてください。中のひもは背もたれをたててから本体に結びつけてください。



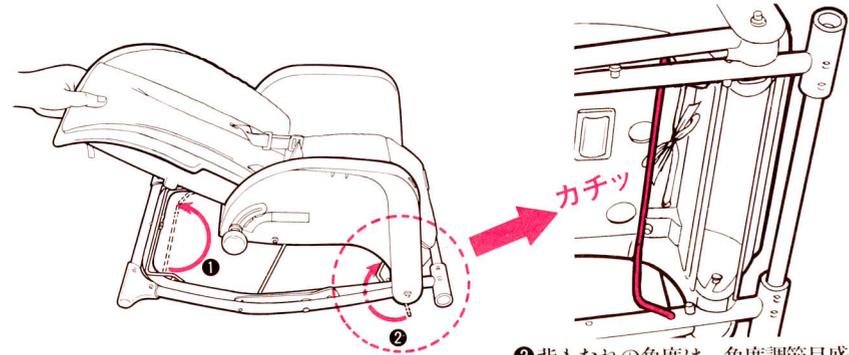
④ 前ステー、後ステーをそれぞれ図のようにセットしてください。これで、固定タイプのラックになります。



## ロッキングチェアとしてお使いになる場合

① 後ステーを図の位置にしてください。

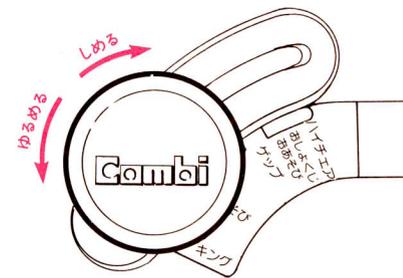
② 前ステーは図の位置で固定されます。



③ 背もたれの角度は、角度調節目盛のロックの位置でお使いください。ベルトはお子さまの体格に合わせて調節しご使用ください。

## 角度調節について

角度調節は角度調節握りをくゆるめる<>しめる<>だけの簡単な操作でできます。用途に応じて適性な角度でご使用ください。



### ★ご注意

角度調節をする場合は、必ず背もたれ上部の中央を片手でささえ操作してください。背もたれの端をもって操作しますと背もたれがゆがむ場合があります。

## テーブルのセットの仕方

テーブル両サイドのテーブルストッパーを外側に引きだしておきます。つぎに、テーブル下のテーブルキャスターを本体の差し込み穴にいっぱいまで差し込みます。そしてテーブルストッパー左右を本体の差し込みゲートに押し込みます。このとき、軽く動かしてセットできているかどうかを確認してください。



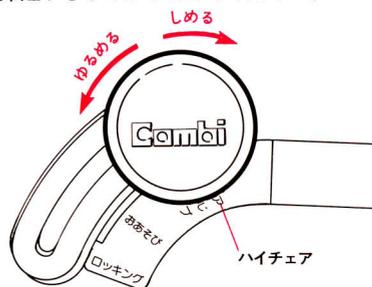
### ★ご注意

ラックとしてお使いになる場合は、足受けを使用することはできません。

# ハイチェアの組み立て方及び使い方

本体を横に寝かせて、以下の要領で組み立ててください。

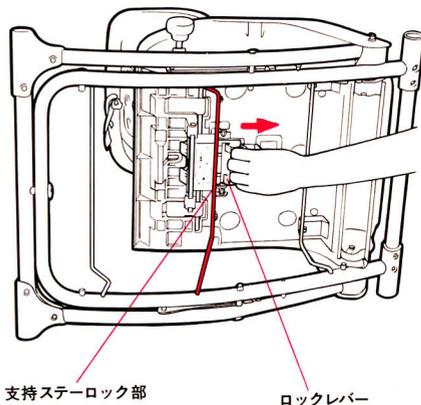
① 背もたれの角度をハイチェアの位置にして、角度調節握りをしっかりしめてください。



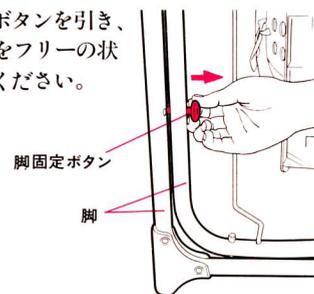
**★ご注意**

ハイチェアとしてお使いになる場合背もたれは、必ず上図ハイチェアの位置でご使用ください。ハイチェアにした場合、リクライニングの使用はできません。

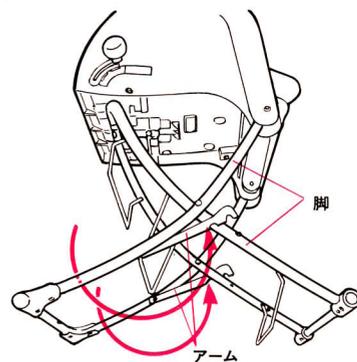
② 支持ステーを、支持ステーロック部からはずします。下図のロックレバーを指で引けばロックが解除され支持ステーがはずれます。



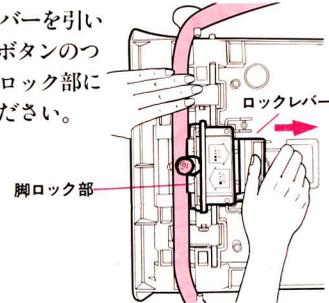
③ 脚固定ボタンを引き、2本の脚をフリーの状態にしてください。



④ 2本の脚をX字にし、アームでしっかり固定してください。

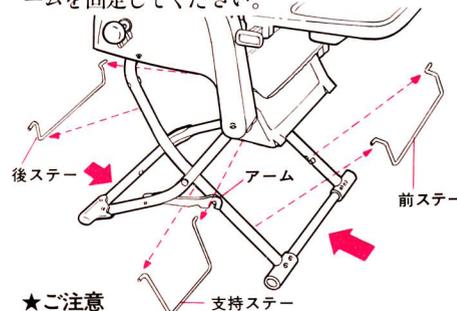


⑤ ロックレバーを引いて、脚固定ボタンのついた脚を脚ロック部に固定してください。



本体を立ててください。

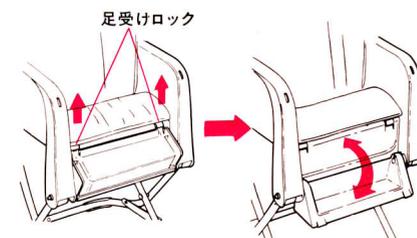
⑥ アームが左右ともしっかり固定されているか確認してください。はずれている場合は、脚パイプの下側を図のようにしてはずれたアームを固定してください。



**★ご注意**

ハイチェアとしてご使用の場合、お子様がチェアの下をはわれたりすると頭をぶついたりして、ケガをするおそれがありますので「前ステー」「支持ステー」「後ステー」を取りはずしてご使用ください。また、取りはずしたステーは、ロック時に必要ですので、大切に保管してください。

⑦ 座席前部のクッションの下にある足受けを取りだします。左右の足受けロックを引き上げて、足受けを降してください。ラックとしてお使いになる場合は、足受けは必ず元の収納の状態でお使いください。



● 股ベルト、腰ベルトはお子さまの体格に合わせて調節してください。お子さまを座らせる場合は、股ベルトと腰ベルトを必ずご使用してください。

## テーブルセットの仕方

テーブル両サイドのテーブルストッパーを外側に引きだしておきます。つぎに、テーブル下のテーブルキャスターを本体の差し込み穴にいっぱいまで差し込みます。そしてテーブルストッパー左右を本体の差し込みゲートに押し込みます。このとき、軽く動かしてセットできているかどうかを確認してください。テーブルを外したいときは、セットするときと逆の方法で操作してください。



お遊びやお食事にはテーブルをつけてご使用ください。また、おとなと同じテーブルで食事する場合は、テーブルを外してもお使いいただけます。

● ハイチェアからラックに切替える場合は、はずした各ステーをセットした後、逆の操作手順でおこなってください。

## ハイチェア・ラックGXは 正しくお使いください。

- ① 赤ちゃんは、思わぬ動作をすることがあります。ハイチェア・ラックをご使用になるときは、必ず保護者の目が届く場所でお使いください。
- ② 赤ちゃんをハイチェアおよびラックに座らせるときは、必ず股ベルトを使用してください。腰ベルトだけでは、ずり落ちたりして、赤ちゃんの首をしめることも考えられ、危険です。
- ③ ゆるい腰ベルトも危険です。背を立てたときに赤ちゃんが自由に動きすぎ、転倒したり、すり抜けたりすることも考えられますので、ベルトは必ずしっかり締めてお使いください。
- ④ 角度調節握りは、必ずしっかり締めてください。さらに、安全のためご使用時には、そのつどスリップしないか確かめてください。  
★ご注意  
角度調節握りはあまり力を入れなくとも締まる構造になっています。締めすぎますとネジをいためる恐れがありますのでご注意ください。
- ⑤ 角度調節握りは小さなお兄ちゃんがいじりますと、赤ちゃんが座っている場合は危険です。お母様から、十分注意してください。
- ⑥ コンビハイチェア・ラックは赤ちゃん用に設計し、十分耐える強度をもっていますが、赤ちゃん以外のご使用はご遠慮ください。
- ⑦ テーブルや本体が汚れたときは、必ず薄めた中性洗剤か、ぬるま湯で洗ってください。クッションは、洗濯機で丸洗いできます。水流調整を弱にセットして、通常の洗剤を使用してください。脱水したあと、綿の片寄りを直し日陰で平干ししてください。漂白剤は使わないでください。

## コンビハイチェア・ラックGXには 「生産物賠償責任保険」がついています。

弊社はコンビラックの品質について安心してお使いいただけるように万全の配慮を致しておりますが、消費者のみならず、正しい方法で製品をお使いになったにもかかわらず、製品の欠陥により、赤ちゃんの身体に損害をおかけした場合は、その損害を補償するため、保険会社と提携して「生産物賠償責任保険」の契約をしております。万一事故が発生した場合は、直ちに弊社にご連絡ください。

### 賠償についてのご注意

1. この制度は傷害等の身体的な損害についてのみ賠償する制度で製品の品質について補償するものではありません。
2. 保険金の限度額は、3,000万円ですが、軽傷の場合でも3,000万円の賠償をするということではありません。それぞれ実情損害の程度に応じ、保険会社の公平な査定の上、妥当な額をお支払いすることになります。この制度は、ご利用者から保険申込みする必要はありません。弊社がコンビラックに契約しています。

### 事故発生の場合は、次の項目をご連絡ください

1. 事故の原因となった製品
    - イ. 製品の名称
    - ロ. 製品の購入先、購入年月日
  2. 事故発生の状況
    - イ. 事故発生年月日
    - ロ. 事故発生の場所
    - ハ. 事故発生の状況
  3. 被害の状況
    - イ. 被害者の氏名、年齢、性別、住所
    - ロ. 被害者の状況と程度(医師の証明)
- この説明書は大切に保存してください。

# 赤ちゃんカレンダー

## ラックの正しい使い方とご注意

	月齢 0 ヶ月	3 ヶ月	6 ヶ月	9 ヶ月	12 ヶ月	24 ヶ月
体の発達のためやす ラックの用途		♥首がすわる ♥ゲップを自分で出せる ♥寝返りをうてる	♥腰がすわる	♥つかまり立ちする ♥はう		♥ひとりで歩く
●寝椅子 (一番寝かせた角度)		ベッド代りに使用できます 1~2ヶ月児の添寝による事故を防ぎ、お母さんも安心して寝られます。 	お昼寝程度にご使用ください 	ホコリや小動物から保護できます。 ↑ ↓		
●ゆりかご			ロックング表示角度の範囲内で  ステアを外すだけで、ロックングが出来、ゆりかご代りとなります。			
●遊び椅子		赤ちゃんが喜び角度で  視野が広がって、知的・情緒的・社会的側面の発達を促します。	家事などの際のそばに手軽に座ります。目よ  いスキんシツを安心させ	お母さんに移動できるあたか  プが赤ちゃんます。	日光浴・外気浴などの際、涼しい所や暖かい所へ  容易に移動できます。	
●授乳の時		一番倒した角度でお使いください	お母さんのだっこの感じで 		 無理なく体を保持し、赤ちゃんは疲れません。抱きくせもつきません。	
●ゲップの時			授乳後20~40分はゲップの表示角度でゲップ 	を出させましょう。		
●食事椅子			果汁・離乳食  赤ちゃんが快適な角度を選んで食事が出来ます。	子供一人で食事(背面を一番立てて)  テーブルを使い一人で食事をしたり、テーブルを外して座卓に参加したり出来ます。		

赤ちゃんにとって、ママの腕の中やひざの上にはまきこころ着く場所はないでしょう。でもママは赤ちゃんにかけつきりという訳にはいきません。ラックはどこへでも簡単に移動ができますから、ママが仕事をしているそばに置けばママの姿が見え、赤ちゃんの心理的欲求にこたえることができ、赤ちゃんは安心します。ママも安心して家事をしたり、読書など、ご自分の時間が持てます。またラックの中の赤ちゃんはベッドに寝ている時や、ママの背中におんぶされている時とは違った視点で回りの物を見ることが出来ます。

### Q1 ラックは生後何ヶ月から使用できますか？

ラックは0ヶ月の赤ちゃんからご使用できます。ただ生まれてすぐの新生時期の赤ちゃんは首がすわっていないため、背を立てた角度で、身体を起して使うことは無理です。水平に近い角度で寝かせてご使用ください。首がすわってからは赤ちゃんが喜び角度を選んであげてください。

### Q2 1日に何回くらい、何分くらい座らせておいて大丈夫ですか？

赤ちゃんをラックに座らせておく時間は1回30分から1時間位が適当です。赤ちゃんがきげんよくひとり遊びしてられる時間がめやすくなります。赤ちゃんには、やはりママのだっこのかけがえいじです。ラックに入れっぱなしはよくありません。また広いベッドやふとんの上で身体を自由に動かすことも大切です。1日の使用時間は合計3~4時間が望ましいと思います。赤ちゃんの発育には多様な場所が必要ですが、でも、ラックでよく寝ている赤ちゃんを無理に他の場所につれてゆく程の必要はないと思います。ラックを上手にご利用されて、赤ちゃんもママも快適な日々をお送りください。

